

事務事業名	42300 大原幽学遺跡史跡公園管理費	予算科目	会計 一般	款	10	項	4	目	11	担当班	文化振興班
施策体系	基本施策 13 芸術文化の振興・伝統文化の保存 施策の展開 27 文化財の保護	根拠法令	文化財保護法	戦略事業	134 大原幽学遺跡史跡公園管理費	戦略事業				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 2 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	国指定史跡44,537.27㎡をふくむ総面積60,482.13㎡の公園を管理活用する事業である。恵まれた自然環境と史跡を活用し、文化財の保護と併せ、市民が地域の文化に触れ、また憩いの場となるよう整備する。 維持管理として、臨時職員2名により清掃、草刈、建物の開け閉めなどを行っている。また、業者委託により園内の樹木管理、傾斜地の緑地管理、防災設備の保守、水田の耕作等を行っている。また、必要に応じて指定文化財の修理、整備を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
国指定史跡大原幽学遺跡が昭和56年干潟町に寄贈されたことから、公園として整備がされた。	園内施設の老朽化や取壊しなどで史跡としての整備がすすんだ(駐車場トイレ、動物舎、キャンプ場、管理棟、遺品保存館は廃止撤去)。史跡の公有化もあり、水田や住居跡地の活用が課題となっている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	一般の利用者、特に団体の来園者は公園への進入路が狭く、傾斜地でもあることから、もっと利用しやすくしてはとの声が多い。また、園内の遊歩道が歩きづらい、案内表示がわかりにくいとの声が多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	
1.賃金	2,187 臨時職員1名
2.需用費	162 高熱水費、燃料代、消耗品
3.委託料	3,959 緑地管理、防災保守他
4.工事請負費	390 幽学遺跡古材撤去及び整地工事
5.その他	897 労災保険料、役員費、使用料及び賃借料、備品購入
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	1.賃金	千円	27年度(決算)	1,711	28年度(決算)	1,690	29年度(決算)	1,786	30年度(決算)	2,187	31年度(予算)	2,340
		2.需用費	千円	224	831	1,962	162	176					
		3.委託料	千円	3,934	9,277	7,548	3,959	4,017					
		4.工事請負費	千円	13,716	518	0	390	1,261					
		5.その他	千円	984	1,064	876	897	1,065					
	事業費計(A)		千円	20,569	13,380	12,172	7,595	8,859					
	財源	1.国庫支出金	千円		2,576	1,724							
		2.都道府県支出金	千円	6,858	800								
		3.地方債	千円										
		4.その他	千円										
5.一般財源		千円	13,711	10,804	9,648	7,595	8,859						

前年度増減理由	前年度は測量業務を行ったため。
---------	-----------------

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

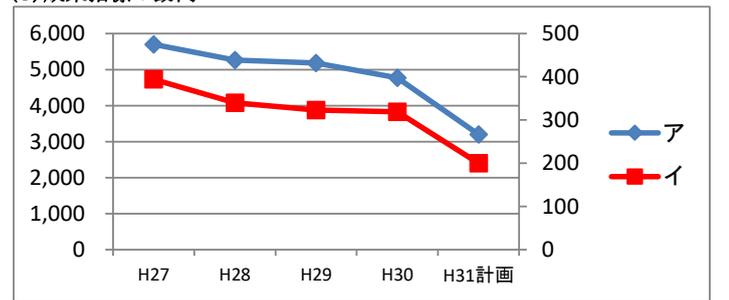
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・遺跡史跡公園の維持管理	ア 開園(記念館開館)日数	日	305	301	295	305	200
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 修繕、工事件数	件	3	5	4	1	5
	対象意図 地域住民、旭市来訪者 文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理されることで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。 対象意図 記念館入館者のうち市内在住者 文化財の保護と併せ、憩いの場となるように適切に管理されることで、市民や多くの人が旭市の文化に触れる機会が増える。	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
		ア 大原幽学記念館の年間入館者数	人	5,700	5,266	5,180	4,774	3,200
		イ 市内在住の入館者数	人	394	340	323	319	200

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	成果向上余地		コスト比率			
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	大きい	②				
普通				(5)		
小さい						
評価結果	①					
	②					
	③					
	④⑤					
	⑥					
	⑦⑧					
	⑨					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	研修視察団体の減少、行事による参加者数の減少のため。
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組みたい主な事項について記載)	時期 令和元年度中 内容 遺跡史跡公園の維持管理・史跡整備のための具体的な計画を策定する委員会を立ち上げる
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
比較	26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31計画 ア 525 Δ434 Δ86 Δ406 Δ1,574 イ Δ141 Δ54 Δ17 Δ4 Δ119
成果動向	令和元年度中・登録博物館の申請に伴い、案内看板を新規設置する。